


## 2017年度 ドコモ市民活動団体助成事業 中間報告書

記入日:

2018年4月9日

活動名	不登校・高校中退の子どもたちの支援者育成プログラム	団体名称	特定非営利活動法人キズキ					
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動					
		活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動					
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容					
不登校・高校中退の子どもたちの学習支援に携わりたいことを希望する方向けに、ワークとショップと合宿による研修を開催する。支援に関心を持つ学生、教員やスクールカウンセラー等の学校関係者、あるいは地域住民を対象とし、弊団体が設立以来蓄積してきた、勉強を通じて社会復帰をめざすという支援について知り、そのノウハウを習得していただける機会とする。		2017.9~10 2017.11~12 2018.1~7 2018.8	研修参加者を募集するためのwebサイトの設計及び構築 研修教材の作成 研修の開催 研修の振り返りと次年度以降の計画の策定					
■活動目標	不登校や高校中退、引きこもり等のドロップアウトを経験したとしても、何度でもやり直せることのできる社会をつくる							
■長期成果	弊団体は、大学等への進学に対応した学習支援に取り組んできた。この支援に関する知見を全国の支援者と共有し、新たな支援者を育成する。これにより、不登校、高校中退等のドロップアウトを経験した子どもたちがもう一度「やり直す」ことを可能にする。							
■活動風景								
		<p>パターン①: 自己コントロールがうまくできない子どもへの対応</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>1 学習に集中させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要な刺激をできるだけ減らす</li> <li>学習時には他のきょうだいを部屋に入れない。テレビをつけない</li> <li>学習に関係のないものは周りに置かない</li> <li>物はあるだけ減らし、整理整頓しやすくする</li> <li>目的別にスペースを区別する</li> <li>タンスや机の引き出しに仕切りを入れる</li> <li>片付け場所に絵や文字等マークをつける</li> </ul> </td> <td> <p>3 集中力を持続させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集中力が途切れないよう準備しておく</li> <li>複数の学習内容を用意し、飽きたら別の勉強に切り替える</li> <li>「ここまで終わったら休憩」と決めておく(時間ではなく学習の進捗で区切る)</li> <li>手遊びグッズで気分転換する(ハンドスピナー、マッサージボールなど)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <p>2 適切な行動を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トークエコミー法(①)を用いる</li> <li>望ましい行動と望ましくない行動が何であるか具体的に示しておく</li> <li>各々の行動についてポイントを決める</li> <li>望ましい行動が取れたらポイントを付与</li> <li>ポイントが一定数たまったら、具体的なほびを与える</li> </ul> </td> <td> <p>4 道具を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳や持ち物チェックリストを作成</li> <li>プリント類はポケットファイルに入れて整理</li> <li>スマートフォンのアラーム機能を活用</li> </ul> </td> </tr> </table>		<p>1 学習に集中させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要な刺激をできるだけ減らす</li> <li>学習時には他のきょうだいを部屋に入れない。テレビをつけない</li> <li>学習に関係のないものは周りに置かない</li> <li>物はあるだけ減らし、整理整頓しやすくする</li> <li>目的別にスペースを区別する</li> <li>タンスや机の引き出しに仕切りを入れる</li> <li>片付け場所に絵や文字等マークをつける</li> </ul>	<p>3 集中力を持続させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集中力が途切れないよう準備しておく</li> <li>複数の学習内容を用意し、飽きたら別の勉強に切り替える</li> <li>「ここまで終わったら休憩」と決めておく(時間ではなく学習の進捗で区切る)</li> <li>手遊びグッズで気分転換する(ハンドスピナー、マッサージボールなど)</li> </ul>	<p>2 適切な行動を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トークエコミー法(①)を用いる</li> <li>望ましい行動と望ましくない行動が何であるか具体的に示しておく</li> <li>各々の行動についてポイントを決める</li> <li>望ましい行動が取れたらポイントを付与</li> <li>ポイントが一定数たまったら、具体的なほびを与える</li> </ul>	<p>4 道具を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳や持ち物チェックリストを作成</li> <li>プリント類はポケットファイルに入れて整理</li> <li>スマートフォンのアラーム機能を活用</li> </ul>	<p>&lt;タイトル、コメント等&gt;</p>
<p>1 学習に集中させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要な刺激をできるだけ減らす</li> <li>学習時には他のきょうだいを部屋に入れない。テレビをつけない</li> <li>学習に関係のないものは周りに置かない</li> <li>物はあるだけ減らし、整理整頓しやすくする</li> <li>目的別にスペースを区別する</li> <li>タンスや机の引き出しに仕切りを入れる</li> <li>片付け場所に絵や文字等マークをつける</li> </ul>	<p>3 集中力を持続させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集中力が途切れないよう準備しておく</li> <li>複数の学習内容を用意し、飽きたら別の勉強に切り替える</li> <li>「ここまで終わったら休憩」と決めておく(時間ではなく学習の進捗で区切る)</li> <li>手遊びグッズで気分転換する(ハンドスピナー、マッサージボールなど)</li> </ul>							
<p>2 適切な行動を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トークエコミー法(①)を用いる</li> <li>望ましい行動と望ましくない行動が何であるか具体的に示しておく</li> <li>各々の行動についてポイントを決める</li> <li>望ましい行動が取れたらポイントを付与</li> <li>ポイントが一定数たまったら、具体的なほびを与える</li> </ul>	<p>4 道具を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳や持ち物チェックリストを作成</li> <li>プリント類はポケットファイルに入れて整理</li> <li>スマートフォンのアラーム機能を活用</li> </ul>							
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制						
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援にこれから参加しようとする方や支援の経験が比較的浅い方を対象に、小規模のワークショップを計3回開催した。</li> <li>一定の支援経験がある方を対象に、有識者を招いた全日研修を実施した(3月末)。</li> <li>以上の研修に参加した方からは、「支援に必要な知識を得ることができた」「お子さんへの声かけや相談対応の手法を学べたので、早速活用していきたい」などの声が聞かれた。</li> <li>弊団体の既存のウェブサイトについて、見直しを進めた。</li> </ul>		<p>【主催・事務局】</p> <p>特定非営利活動法人キズキ 統括: 安田祐輔(理事長) 企画: 伊藤優(総務担当) 教材作成: 仁枝幹太(理事)他2名 研修運営: 田口俊明(助成事業担当)他4名</p> <p>【協力団体】</p> <p>認定特定非営利活動法人 育て上げネット</p> <p>【アドバイザー】</p> <p>認定NPO法人育て上げネット理事長 工藤 啓氏 精神科医 志村 哲祥氏 東京大学特任助教 細野 正人氏</p>						
〒151-0051 (住所) 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目29番7号ドルミ御苑202号室 (団体名) 特定非営利活動法人キズキ (ホームページ): <a href="https://kizuki.or.jp/aboutus/outline/">https://kizuki.or.jp/aboutus/outline/</a>		助成金額 500,000円		助成期間 H29.9.1~H30.8.31				

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。